

平成 31 年 3 月 吉日

県内市町教育委員会 教育長 様
静東・静西教育事務所 所長 様
県内国公立小学校・中学校・高等学校 校長 様
県内国公立特別支援学校 校長 様
県内国公立幼稚園 園長 様
県内国公立幼保連携型認定こども園 園長 様
県内教育研究諸団体 会長 様

公益財団法人 はごろも教育研究奨励会

理事長 後藤 康雄

平成 31 年度(第 19 回)「はごろも教育研究助成賞」授与要項送付の件

拝啓 早春の候、ますますご清栄の段お慶び申し上げます。日頃、弊財団のためにご指導、ご支援を賜り感謝致します。

弊財団は静岡県における教育研究の高揚と充実を図り、青少年の健全育成に寄与することを目的としております。教育研究推進の一助として、学校の研究体制の強化と教職員の研究心の高揚を主眼に置き、研究テーマを設定して教育研究に取り組もうとする学校及び教育研究諸団体に研究助成を行う本事業を「はごろも教育研究助成賞」と名付け、有効適切な運営によって、所期の目的を達成したいと存じ鋭意努力しております。

さて、国の新学習指導要領の告示に伴い、静岡県では、平成 30 年 3 月に新たな教育振興基本計画を策定致しました。社会変化の予測が難しい今日、将来を担う子供たちに、「共に生き抜く力」、「確かな学力」の育成が具体的に進められ、教職員の資質向上と教育活動の充実を図るための教育研究が必要とされております。

具体的な応募方法等は、別紙「はごろも教育研究助成賞」授与要項のとおりとなっております。単年度助成賞・複数年度助成賞に、是非、多数の学校・教育研究諸団体からの応募を賜りたくお願い申し上げます。

なお、平成 31 年度(第 34 回)「はごろも教育研究奨励賞」につきましても、昨年同様授与要項を 6 月初旬に送付する予定でありますので、これにつきましても多くの応募をお待ち致しております。

今後ともなにとぞ、弊財団の事業にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成 31 年度(第 19 回)「はごろも教育研究助成賞」実施につき、次の団体から後援を頂いております。
後援：静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県都市教育長協議会、静岡県町教育長会、静岡県私学協会、(一社)静岡県私立幼稚園振興協会

平成 31 年度(第 19 回) 「はごろも教育研究助成賞」 授与要項

公益財団法人 はごろも教育研究奨励会

1 趣 旨

静岡県において有効適切な研究テーマを設定して、意欲的に教育研究に取り組もうとする学校及び教育研究諸団体を助成し、本県の教育研究の充実を図り、もって本県学校教育の振興と青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

2 対 象

(1) 単年度、教育研究助成賞

対象は本県の国公立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む。）、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（以下「学校」という。）及び教育研究諸団体（会則を設けている団体）で、本年度研究テーマを設定して教育研究を推進しようとしている学校（研究指定学校を含む。）及び教育研究諸団体とする。

ただし、他の民間団体より平成 31 年度における研究助成金を授与されている、又は授与される予定の学校及び教育研究諸団体は除く。

【※助成賞の対象とする「教育研究諸団体」とは県内の教職員で組織されているもの（大学の職員を含む団体、全国組織の支部等で構成する団体を除く。）とする。】

(2) 複数年度、教育研究助成賞

対象は本県の国公立の学校で、研究テーマを設定し 2 年ないし 3 年の期間に渡り継続して教育研究を推進しようとしている学校（研究指定学校を含む。）とする。

ただし、他の民間団体より研究期間中に研究助成金を授与されている、又は授与される予定学校は除く。

3 授与内容

(1) 受賞者には賞状及び助成金を授与する。

(2) 助成賞の授与件数及び助成金額は、下記のとおりとする。

ア （単年度）教育研究助成賞

(ア) 学校に対する助成 30 件程度 1 件につき 50 万円

(イ) 教育研究諸団体に対する助成 5 件程度 1 件につき 50 万円

イ （複数年度）教育研究助成賞

学校に対する助成 15 件程度 1 件につき 1 年に 40 万円

4 応 募

(1) 応募要件

ア 学校は上記助成対象(1)及び(2)を同年度に同時に応募することはできない。

イ 助成賞授与期間中の応募は認めない。

ウ 前年度奨励賞（学校賞）を受賞した学校の応募は認めない。

エ 平成 30 年度はごろも『夢』講演会に採用された企画と、同一内容は認めない。

オ 学校のうち、下記組織は、独立した別組織としてそれぞれ応募資格を有するものとするが、同一研究テーマによる応募は認めない。

- ・特別支援学校における高等部、中学部、小学部、幼稚部
- ・複数課程、学科を設置する高等学校における各課程、各学科
- ・中高一貫校における高等学校中等部
- ・小中一貫型小学校・中学校における小学校、中学校
- ・義務教育学校における前期課程（6年）・後期課程（3年）

カ 上記学校の応募申込書には（ ）付きで、各学科・部等を記載する。

(2) 応募書類

応募には、次の書類を提出。差込ファイル等は使用せず、ダブルクリップ等で留める。また、応募申込書・教育研究計画書・研究費使途計画書及び参考資料の順に全てに、ナンバー（用紙下部中央）を付ける。両面印刷は不可。応募した申込書等は返却しない。

ア 平成 31 年度（単年度）教育研究助成賞

- (ア) 応募申込書（単年度）（別記様式第 1 号） A4 判 横書き 1 枚
- (イ) 教育研究計画書（単年度）（別記様式第 2 号） A4 判 横書き 2 枚
- (ウ) 研究費使途計画書（別記様式第 5 号） A4 判 横書き 1 枚
- (エ) 参考資料（必ず提出する。ただし、録音、ビデオテープ等は除く。）
- (オ) 教育研究諸団体については最新の会則

イ 平成 31 年度（複数年度）教育研究助成賞

- (ア) 応募申込書（複数年度）（別記様式第 3 号） A4 判 横書き 1 枚
- (イ) 教育研究計画書（複数年度）（別記様式第 4 号） A4 判 横書き 3 枚
- (ウ) 研究費使途計画書（別記様式第 5 号） A4 判 横書き 1 枚
- (エ) 参考資料（必ず提出する。ただし、録音、ビデオテープ等は除く。）

(3) 応募締切

平成 31 年 5 月 7 日（火）必着

(4) 応募先

〒424-0806 静岡市清水区辻 1 丁目 1 番 1 号
清水郵便局私書箱第 165 号
公益財団法人 はごろも教育研究奨励会事務局

(5) 問い合わせ先

公益財団法人 はごろも教育研究奨励会事務局
T E L 054-361-3737
F A X 054-361-3738

(6) その他

当財団では、情報公開の趣旨に沿い、ホームページを開設しています。

アドレスは次の通りです。 URL <http://www.hagoromo-shoreikai.or.jp>

5 選考

- (1) 選考は「顕彰規程」に基づき「選考委員会規程」及び「選考準備委員会規程」により、選考委員会が行い、理事長の承認により決定する。
- (2) 選考委員会の事務局は、公益財団法人はごろも教育研究奨励会事務局に置く。

6 発表

平成 31 年 6 月中旬、新聞紙上に発表するとともに、当該学校及び教育研究諸団体に通知する。

7 助成賞授与

助成賞授与の日時、会場等については、別に定める。

8 報告書の提出

- (1) 受賞者は助成賞教育研究報告書と助成金使途報告書を翌年 1 月末までに提出する。
- (2) 報告書は成果集として出版、各学校に配布するため、同内容のものを事務局へメールする。
- (3) 当成果集の著作権は公益財団法人はごろも教育研究奨励会に属する。
※報告書及び成果集原稿の書式等については、受賞後別途ご案内。

9 当事業後援団体

静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県都市教育長協議会、静岡県町教育長会、静岡県私学協会、(一社)静岡県私立幼稚園振興協会

平成31年度（第19回）「はごろも教育研究助成賞」

応募申込書（単年度）

年 月 日

公益財団法人 はごろも教育研究奨励会
理事長 後藤康雄様

学校・団体名 _____



代表者職・氏名 _____

当校・当団体は、関係書類を添付して「はごろも教育研究助成賞」授与要項に基づき、応募いたします。

記

学校・団体の概要

学校・団体名	フリガナ				
	TEL				
所在地	〒				
幼児数 児童数 生徒数		学級数		教職員数	
会員数 団体のみ記入					
研究主題					
担当者名					

平成31年度（第19回）「はごろも教育研究助成賞」

教育研究計画書（単年度）

学 校・団体名



代表者職・氏名

1 研究主題

2 主題設定の理由

3 研究計画

(1) 研究期間（応募は単年度だが継続研究計画の場合は必要事項を記入する。）

「継続計画 年間（ 年 月～ 年 月）のうち、本年は 年目」

(2) 研究計画の概要（研究の全体計画の概要を記入する。）

(3) 本年度の研究推進の具体的方策（本年度の研究計画・推進の具体的方策を記入する。）

- 「別記様式第2号」は1枚しか配布されていないが、上記1～3の項目について、A4判2枚にまとめて提出する。
- フォントサイズは、9～11とする。
- 参考資料は必ず添付のこと。

平成31年度（第19回）「はごろも教育研究助成賞」

応募申込書（複数年度）

年 月 日

公益財団法人 はごろも教育研究奨励会
理事長 後藤 康雄 様

学 校 名 _____



代表者職・氏名 _____

当校は、関係書類を添付して「はごろも教育研究助成賞」授与要項に基づき、応募いたします。

記

学校の概要

学 校 名	フリガナ				
	TEL				
所 在 地	〒				
幼 児 数 児 童 数 生 徒 数		学 級 数		教 職 員 数	
研究主題					
副 校 長 名 (教頭)					
担 当 者 名					

平成31年度（第19回）「はごろも教育研究助成賞」

教育研究計画書（複数年度）

学校名



代表者職・氏名

1 研究主題

2 主題設定の理由

3 研究計画

(1) 研究期間（継続計画の場合は必要事項を記入する。）

「貴校の計画年数 年間（ 年 月～ 年 月）のうち
応募年度は 年 月～ 年 月の 年間」

1年目計画 （ 年 月～ 年 月）

2年目計画 （ 年 月～ 年 月）

3年目計画 （ 年 月～ 年 月）

(2) 研究計画の概要（研究の全体計画の概要を記入する。）

(3) 各年度の研究推進の具体的方策（各年度の研究計画・推進の具体的方策等を記入する。）

・ 1年目の研究計画・推進の具体的方策

・ 2年目の研究計画・推進の具体的方策

・ 3年目の研究計画・推進の具体的方策

○ 「別記様式第4号」は1枚しか配布されていませんが、上記1～3の項目について、A4判3枚にまとめて提出する。

○ フォントサイズは、9～11とする。

○ 参考資料は必ず添付のこと。

平成31年度（第19回）「はごろも教育研究助成賞」

研究費使途計画書

学校・団体名 _____

印

代表者職・氏名 _____

<研究費の使途計画>

- ① 各年度の研究に必要な材料費、資料費、視察費、講師謝礼、雑費等を記載する。ただし、備品の購入を目的としない。
- ② 5万円以上の必要とされる経費はできるかぎり、具体的に記載する。
- ③ 使途金額は、教育研究計画書と研究費使途計画書に、(※1)、(※2)と記入し連動させる。

研究期間	支出予定項目	支出予定金額	備 考
単年度 計 画	<例> 資材及び製作費(※1) 何々(※2)	50,000 60,000	
複 数 年 度 計 画	1年目		
	2年目		
	3年目		

* 2年間の継続研究の場合は、3年目の記入は不要。